

問六										問五	問四	問二	問一										
予	を	命	と	ら	た	社	ば	が	的	大	で自則機 きらに械 ない作した 不可ルが 知なを対 事象更す にだけ 対処い でくが しど うか うか と いう こと 。機 械と生 命体 を分 か つ 境 界 線 は 、 予 測	と結論付 け、人 間を普 遍的介 在性 の哲 学的 根 拠 と な り う る か ら 。 相 関 主 義 を 肯 定 す る た め に は 、 人	トランス・ヒューマニストが、あこがれる普遍的知性や汎用AIの可能性を肯定するためには、人間との関係をもとに行われる論は、絶対的知性や汎用AIの可能性を肯定するためには、人間との関係をもとに行われる論は、絶対的知性や汎用AIの可能性を肯定するためには、人間との関係をもとに行われる論は、絶対的知性や汎用AIの可能性を肯定するためには、人間との関係をもとに行われる論は、絶対的知性や汎用AIの可能性を肯定ため	A	a								
測	優	体	つ	な	く	会	、	阻	分	き						陣							
不	先	と	て	い	役	状	気	害	析	な							營						
可	し	し	幸	と	に	況	候	さ	に	危								b					
能	つ	て	福	考	立	に	変	れ	囚	険									頭				
な	つ	の	な	え	た	対	動	、	わ	は										在			
事	、	人	未	る	な	し	や	未	れ	す											c		
象	ク	間	来	、	い	て	大	来	へ	ぎ												所	
に	ラ	の	を	人	、	も	地	へ	の	る													与
対	ウ	行	築	間	私	過	震	の	指	と													
処	ド	う	く	と	は	去	な	針	、	ら	浅												
し	A	情	と	無	、	の	ど	針	を	生		薄											
て	I	報	い	関	ク	デ	の	を	誤	命			e										
生	を	の	う	係	ラ	、	自	然	り	体				蓄									
き	手	身	考	な	ウ	タ	然	か	ね	と					積								
抜	段	体	え	普	ド	に	災	か	ね	し						た							
い	と	的	は	遍	A	も	害	、	な	て							デ						
て	し	意	楽	的	I	と	、	政	い	の								ー					
い	て	味	観	知	を	づ	政	こ	本	能									タ				
く	活	解	的	性	過	く	治	と	能	的										の			
べ	用	積	す	が	信	A	経	だ	。柔	軟	機												
き	し	の	ぎ	、	し	I	濟	な	。柔	軟		械											
だ	な	自	る	人	て	は	な	。例	え	性													
。が	由	。生	に	な	つ	の	え	性															
ら	度	生	に	な	つ	の	え	性															

問六	問五	問四	問三	問二	問一
れに親 るよの 可者う 能は一 性が体 あるな こと を 示 唆 す る 意 味 が 込 め ら れ て い る 。方 に よ つ て 声 と し て 聞 き 取 る	の義で盗 間的は。ん でになそ 揺はくう れ渡、な 動す父と いべやと てき戦、 いだ争村 ると思記 複雑憶と ななが結 思がらび 込め心た 情象徴に 的存 。しが た失る なわ風 いれ音 うまか うな 相こと 反し すに る気 持道	なが普 ついで て気風 お持は り音が 、と聞 自、こ 分六え の十年 想近こ いと 重時 なるが 部分、 が泣立 あるき こと御 を村人 り喜生 び活と を感じ た離し 。い もの と難 し	とるて風 。おが ともエ吹 にもイ、 音音が が引歌 きと方 起しか こす歌 す不吹 安続風 けの音 れこに をと親 払拭し たあ聞 いと世 う送 思り 。し 慰め たい 願う 気持 ち	ウ	a きんき
				オ	b かなた
					c てなす(ける)
					d あら(わ)
					e つ(かれて)

三

問一	a	尊敬	さす	連用形	b	過去	き	已然形
問二	①	夢の中で浮き橋を渡るようにおぼつかない心地がする	④	昔からの先例に従って形式通りに行われた	③	けしき		
問三	②	きさらぎ						
問四	エ							
問五	ア	涙	イ	天皇	ウ	掛詞	エ	る
問六	平家物語							

四

問一	于、而							
問二	②	いまださだまらず	④	すでになるといへども				
問三		時を過ぎしていた						
問四	不 _レ 可 _三 築 _レ 垣、以 _二 防 _ニ 禽 _一 獸 _一 哉							
問五	ウ							